

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第6部門第3区分

【発行日】平成26年8月14日(2014.8.14)

【公開番号】特開2012-133584(P2012-133584A)

【公開日】平成24年7月12日(2012.7.12)

【年通号数】公開・登録公報2012-027

【出願番号】特願2010-285037(P2010-285037)

【国際特許分類】

G 06 Q	10/06	(2012.01)
G 06 F	17/30	(2006.01)
G 06 F	17/21	(2006.01)
G 06 F	21/60	(2013.01)
G 06 F	21/00	(2013.01)

【F I】

G 06 F	17/60	1 7 4
G 06 F	17/30	1 2 0 B
G 06 F	17/30	3 5 0 C
G 06 F	17/21	5 7 0 M
G 06 F	12/14	5 6 0 B
G 06 F	15/00	3 3 0 A

【手続補正書】

【提出日】平成26年6月30日(2014.6.30)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

記憶部を有する情報処理装置であつて、

情報資産の重要度を示す重要度情報と前記重要度情報に対応して設けられた条件とが規定された重要度ポリシー情報を前記記憶部から読み出し、前記記憶部に記憶されている情報資産が前記重要度ポリシー情報に規定された何れかの条件を満たす重要度情報を前記情報資産の重要度情報として決定する重要度情報決定手段と、

情報資産の管理項目の値を示す管理項目値と前記管理項目値に対応して設けられた前記情報資産の脆弱性を示す脆弱性情報を規定された脆弱性ポリシー情報を前記記憶部から読み出し、前記情報資産の管理項目値に合致する前記脆弱性ポリシー情報の脆弱性情報を前記情報資産の脆弱性情報として決定する脆弱性情報決定手段と、

前記重要度情報決定手段で決定された前記情報資産の重要度情報と前記脆弱性情報決定手段で決定された前記情報資産の脆弱性情報を出力する出力手段と、
を有することを特徴とする情報処理装置。

【請求項2】

前記脆弱性ポリシー情報には、情報資産の脆弱性を解消する処理の内容を示す処理内容情報が更に関連付けられて規定され、

前記脆弱性情報決定手段は、前記情報資産の脆弱性情報を関連付けられている処理内容情報を前記脆弱性ポリシー情報から更に抽出し、

前記出力手段は、前記重要度情報決定手段で決定された前記情報資産の重要度情報と前記脆弱性情報決定手段で決定された前記情報資産の脆弱性情報及び処理内容情報を出力

することを特徴とする請求項 1 に記載の情報処理装置。

【請求項 3】

前記出力手段は、前記情報資産の重要度情報と脆弱性情報と処理内容情報とを当該情報処理装置とは異なる他の情報処理装置に送信し、

前記他の情報処理装置で表示された前記情報資産の処理内容情報を指定して前記情報資産の脆弱性を解消する処理を指示するユーザ操作が行われたことを契機に送信された要求に応答して、前記情報資産の脆弱性を解消する処理を実行する解消手段を更に有することを特徴とする請求項 2 に記載の情報処理装置。

【請求項 4】

前記重要度情報決定手段は、

前記情報資産について決定した重要度情報を前記情報資産に関連付けて前記記憶部に記憶し、

前記記憶部に記憶されている前記情報資産とは異なる他の情報資産について前記情報資産と類似するかを判断し、類似すると判断した場合、前記情報資産の重要度情報を前記他の情報資産の重要度情報として決定することを特徴とする請求項 1 乃至 3 の何れか 1 項に記載の情報処理装置。

【請求項 5】

前記重要度ポリシー情報では、情報資産に個人情報が含まれる度合に応じて条件が規定されていることを特徴とする請求項 1 乃至 4 の何れか 1 項に記載の情報処理装置。

【請求項 6】

前記重要度ポリシー情報では、情報資産に規定のキーワードが含まれるか否かに応じて条件が規定されていることを特徴とする請求項 1 乃至 5 の何れか 1 項に記載の情報処理装置。

【請求項 7】

前記重要度ポリシー情報では、情報資産が規定のテンプレートに類似する度合に応じて条件が規定されていることを特徴とする請求項 1 乃至 6 の何れか 1 項に記載の情報処理装置。

【請求項 8】

前記重要度ポリシー情報では、情報資産の保管場所に応じて、条件が規定されていることを特徴とする請求項 1 乃至 7 の何れか 1 項に記載の情報処理装置。

【請求項 9】

前記保管場所は、機密を管理するための領域を含み、

前記重要度情報決定手段は、

前記機密を管理するための領域を示す保管場所に保管された情報資産について決定した重要度情報を前記情報資産に関連付けて前記記憶部に記憶し、

前記記憶部に記憶されている前記情報資産とは異なる、前記機密を管理するための領域以外の保管場所に保管された他の情報資産について前記情報資産と類似するかを判断し、類似すると判断した場合、前記情報資産の重要度情報を前記他の情報資産の重要度情報として決定することを特徴とする請求項 8 に記載の情報処理装置。

【請求項 10】

記憶装置と、記憶部を有する情報処理装置とを備える情報資産管理システムであって、

前記記憶装置には、情報資産の重要度を示す重要度情報と前記重要度情報に対応して設けられた条件とが規定された重要度ポリシー情報と、情報資産の管理項目の値を示す管理項目値と前記管理項目値に対応して設けられた前記情報資産の脆弱性を示す脆弱性情報とが規定された脆弱性ポリシー情報とが記憶され、

前記情報処理装置は、

前記重要度ポリシー情報と前記脆弱性ポリシー情報とを前記記憶装置から取得する取得手段と、

前記取得手段で取得された前記重要度ポリシー情報をもとに、前記記憶部に記憶されている情報資産が前記重要度ポリシー情報に規定された何れかの条件を満たす重要度情報を

前記情報資産の重要度情報として決定する重要度情報決定手段と、

前記取得手段で取得された前記脆弱性ポリシー情報をもとに、前記情報資産の管理項目値に合致する前記脆弱性ポリシー情報の脆弱性情報を前記情報資産の脆弱性情報として決定する脆弱性情報決定手段と、

前記重要度情報決定手段で決定された前記情報資産の重要度情報と前記脆弱性情報決定手段で決定された前記情報資産の脆弱性情報を出力する出力手段と、
を有することを特徴とする情報資産管理システム。

【請求項 1 1】

記憶部を有する情報処理装置における情報資産管理方法であって、

情報資産の重要度を示す重要度情報と前記重要度情報に対応して設けられた条件とが規定された重要度ポリシー情報を前記記憶部から読み出し、前記記憶部に記憶されている情報資産が前記重要度ポリシー情報に規定された何れかの条件を満たす重要度情報を前記情報資産の重要度情報として決定する重要度情報決定工程と、

情報資産の管理項目の値を示す管理項目値と前記管理項目値に対応して設けられた前記情報資産の脆弱性を示す脆弱性情報を規定された脆弱性ポリシー情報を前記記憶部から読み出し、前記情報資産の管理項目値に合致する前記脆弱性ポリシー情報の脆弱性情報を前記情報資産の脆弱性情報として決定する脆弱性情報決定工程と、

前記重要度情報決定工程で決定された前記情報資産の重要度情報と前記脆弱性情報決定工程で決定された前記情報資産の脆弱性情報を出力する出力工程と、
を有することを特徴とする情報資産管理方法。

【請求項 1 2】

記憶装置と、記憶部を有する情報処理装置とを備える情報資産管理システムにおける情報資産管理方法であって、

前記記憶装置は、情報資産の重要度を示す重要度情報と前記重要度情報に対応して設けられた条件とが規定された重要度ポリシー情報を、情報資産の管理項目の値を示す管理項目値と前記管理項目値に対応して設けられた前記情報資産の脆弱性を示す脆弱性情報を規定された脆弱性ポリシー情報を記憶する記憶工程を有し、

前記情報処理装置は、

前記重要度ポリシー情報を前記脆弱性ポリシー情報を前記記憶装置から取得する取得工程と、

前記取得工程で取得された前記重要度ポリシー情報をもとに、前記記憶部に記憶されている情報資産が前記重要度ポリシー情報に規定された何れかの条件を満たす重要度情報を前記情報資産の重要度情報として決定する重要度情報決定工程と、

前記取得工程で取得された前記脆弱性ポリシー情報をもとに、前記情報資産の管理項目値に合致する前記脆弱性ポリシー情報の脆弱性情報を前記情報資産の脆弱性情報として決定する脆弱性情報決定工程と、

前記重要度情報決定工程で決定された前記情報資産の重要度情報と前記脆弱性情報決定工程で決定された前記情報資産の脆弱性情報を出力する出力工程と、
を有することを特徴とする情報資産管理方法。

【請求項 1 3】

記憶部を有するコンピュータを、

情報資産の重要度を示す重要度情報と前記重要度情報に対応して設けられた条件とが規定された重要度ポリシー情報を前記記憶部から読み出し、前記記憶部に記憶されている情報資産が前記重要度ポリシー情報に規定された何れかの条件を満たす重要度情報を前記情報資産の重要度情報として決定する重要度情報決定手段と、

情報資産の管理項目の値を示す管理項目値と前記管理項目値に対応して設けられた前記情報資産の脆弱性を示す脆弱性情報を規定された脆弱性ポリシー情報を前記記憶部から読み出し、前記情報資産の管理項目値に合致する前記脆弱性ポリシー情報の脆弱性情報を前記情報資産の脆弱性情報を決定する脆弱性情報決定手段と、

前記重要度情報決定手段で決定された前記情報資産の重要度情報を前記脆弱性情報決定

手段で決定された前記情報資産の脆弱性情報とを出力する出力手段と、
して機能させるプログラム。

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0007

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0007】

そこで、本発明に係る情報処理装置は、記憶部を有する情報処理装置であって、情報資産の重要度を示す重要度情報と前記重要度情報に対応して設けられた条件とが規定された重要度ポリシー情報を前記記憶部から読み出し、前記記憶部に記憶されている情報資産が前記重要度ポリシー情報に規定された何れかの条件を満たす重要度情報を前記情報資産の重要度情報として決定する重要度情報決定手段と、情報資産の管理項目の値を示す管理項目値と前記管理項目値に対応して設けられた前記情報資産の脆弱性を示す脆弱性情報を規定された脆弱性ポリシー情報を前記記憶部から読み出し、前記情報資産の管理項目値に合致する前記脆弱性ポリシー情報の脆弱性情報を前記情報資産の脆弱性情報として決定する脆弱性情報決定手段と、前記重要度情報決定手段で決定された前記情報資産の重要度情報と前記脆弱性情報決定手段で決定された前記情報資産の脆弱性情報を前記情報資産の脆弱性情報を前記情報資産の脆弱性情報を出力する出力手段と、を有することを特徴とする。